

## 第4号議案

### 令和4年度事業活動計画

#### 【全般的な活動について】

収束の見えないコロナ禍、ウクライナ情勢に加え、それらに起因する建築資材の高騰などは、正会員、賛助会員などの企業活動に大きな影響を及ぼしています。

この逆境下、基本となる京都建築設計監理協会の目的を改めて確認しました。当会の目的には、設計事務所の「健全な発展」「進歩改善」「社会公共の福祉増進と建築文化の発展に寄与すること」が挙げられています。これまでは目的に則した活動ができていたと感じます。難局に一喜一憂するのではなく、長いスパンで物事を捉え持続可能な企業を育む活動を行っていくために、当会は努力と研鑽を積み重ね、日々の変化に追従できる活動を大切にしていきたいと思えます。

今年度は、組織を「総務部会」、「情報交流部会」、「技術研修部会」の3つに再構築しました。決して大きな協会ではありませんが、個々の会員が利益を享受できるよう、以下の通り活動を活性化したいと思えます。

#### 本年度活動方針

##### 1. 健全な企業活動の実現

コロナ共存をニューノーマルと捉え、在宅、オンライン、業務の効率化などのDX（デジタルトランスフォーメーション）技術の共有を図りたいと思えます。

##### 2. 広報活動強化

協会の活動に見合った認知度を高めるために、対外的なPRを強化します。

##### 3. 会員増強

協会の維持と存続のためには会員増強は欠かせません。本年もこの点を最優先に考え努力します。

##### 4. 行政や他団体との未来志向的な情報交流

京都府、京都市各課との意見交換会、懇談会を例年通り開催したいと思えます。

また、建築四団体とも実務的な交流を開催したいと思えます。

##### 5. 講習会・見学会の開催

コロナ禍においても自己研鑽の場を定期的で開催してきました。引き続き、各種セミナーや見学会を企画します（リアル、オンラインのハイブリッド開催）。

##### 6. 次世代交流と育成

若手所員向けの「実務研修会」の開催や参加したいと思う企画を開催したいと思えます。

##### 7. 賛助会員との交流

「企業PRの会」を今年度も開催し、新製品や材料、製品に対する知識を専門家の立場から発表していただき、我々の設計の参考にしていきたいと思えます。

新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのか予測できませんが、会員の健康と安全を考慮しつつ活動を行っていききたいと思えます。

会員皆様のご協力をお願いします。

## 組織活動について

### 【総務部会】

1. ここ数年はコロナ感染拡大の影響により、親睦活動については十分開催することができませんでした。感染状況の先行きは不透明ですが本年度はなんとか研修旅行、親睦会、ビアパーティーなどを開催し会員協力会員賛助会員との相互理解に努めたいと思います。
2. 情報サロン企業PRの会も賛助会員の方からぜひ本年度も開催してほしいという要望もあり、早期に開催したいと考えています。新商品や新技術の情報を、賛助会員の方に教えていただくことによって、日々の設計業務の場に反映していきたいと思います。
3. 会員増強は差し迫った問題です。各イベントについては、若い技術者の方が多数参加できるような環境を作り、各事務所の所員や、新入会員に喜んでいただけるように努力するつもりです。
4. 理事会報告を毎月ニュースレターとして発行し会員への広報を行います。
5. ホームページを定期的に更新し最新の協会情報を発信します。

### 【情報交流部会】

新型コロナウイルスの猛威も終息に向かうのか、また繰り返すのかわからない状況下ではありますが、今年も安全安心の状況を作りつつ進めたいと思いますので会員の皆様方のご協力をお願いいたします。

1. 京都府との懇談会、京都市との意見交換会を本年も実施し、最新の情報や意見交換を計り、相互理解を深めます。
2. 京都市建築物安全安心実施計画会議等に委員として参加し、建築物の質の向上や安全性の向上に協力し、安全で安心な街づくりに参加します。
3. 府・市・その他関連団体へは当会の活動や協力会員のより詳細な情報提供を行い、社会的認知度向上や専門事務所の意義を訴えます。
4. 建築関係団体協議会に参加し各団体の交流と情報交換の活性化を目指します。
5. 京都弁護士会からの委嘱を受け、住宅紛争処理委員の建築士委員として協力します。
6. 京都市立京都工学院高等学校の生徒の受入れに本年も協力します。

## 【技術研修部会】

〔講習会见学会〕〔事務所運営研究〕〔次世代委員会〕の3つの活動を行います。  
新型コロナウイルスの感染拡大は、未だに先行きが見えず、社会、経済や日常生活に大きな影響を及ぼしておりますが、感染対策を徹底し出来る限り開催したいと考えております。

### 〔講習会・見学会〕

令和の時代において先導的な役割を担えるよう、理論的・技術的な勉強会、建築・工場等の見学会、国際交流活動を行いたいと考えております。

令和4年度は、年3回のセミナー（講習会）を企画開催したいと考えています。開催時期は例年同様に、組合との共催で年3回（7月、10月、1月頃）実施したいと考えています。

当協会の特色を生かした建築・工場等の見学会を企画いたします。  
国際交流にも配慮した見学会を2回程度開催したいと考えています。

※ 「講習会の内容」や「見学したい話題の建物や現場」についてのご要望があれば、担当理事までご連絡いただきますようお願い致します。

### 〔事務所運営研究〕

世界的な規模のコロナ禍のまん延とロシアによるウクライナ侵攻という、予想だにできなかった大変な出来事により、価値観が大きく変化しました。  
我々を取り巻く環境が今後どう変わるのか？ またどう対処していけばいいのかを考えるのが今年のテーマです。会員の皆様方からのご意見も伺いたいと思います。

### 〔次世代委員会〕

「実務者のための実践報告会」の実施に向けて企画及び実施したいと考えています。  
次世代が実務を行う上で重要となる BIM (Building Information Modeling) の動向や導入に際しての実際を紹介する機会を引き続き設けます。  
又、若手実務者の情報交換の場となるような機会を、今年こそはコロナ対策を万全に取ったうえで開催をしたいと考えております。

賛助会員と連携した実務者向けの見学会や勉強会も開催したいと考えます。